

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0602 - 09

事務事業名	もっときれいな街づくり推進事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	-----------------	------	-------	-------

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	元年度	事業終了年度	計画／一般	計画	計画事業No.	5-	2-	3-	2	
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	関連するSDGsのゴール	3	8	11	12	14	17
① 路上喫煙・ポイ捨て防止事業経費				②							

政策体系（令和4年度基本計画）				
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	環境の保全	
施策	地域美化の推進	政策番号	5-2-3	
関連する個別計画	無	計画策定年度		計画期間

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	区民ほか豊島区来訪者							
(2)事業の目的・期待する効果	豊島区内における路上喫煙・ポイ捨てをなくし、環境美化向上を実現する。							
(3)事業概要	IKEBUSと同じ赤色のユニフォームを着た「としまシルバースターズ」が池袋駅周辺でごみのポイ捨て禁止の呼びかけや清掃活動を行う。							
(4)目標の達成状況	4年度の取組内容(4年度に実施した具体的な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・通常業務として、道路等の清掃、喫煙者の注意・指導、ポイ捨てを行うものへの指導等 ・ごみゼロデーやごみゼロウィークにおいて、集中的に清掃活動を実施した。 						
	成果指標(事業目標の達成度)	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	5年度(計画値)
	① 路上喫煙率	→	%	0.03	0.05	0.03	140	0.05
	② 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合	↗	%	35.1	33.4	36.2	108.4	33.6
③								
指標の説明	①路上喫煙率とは、所定の時間帯に区内全駅前で行う調査の際、路上喫煙者延べ数／通行者延べ数(成人)により算出した比率 ②「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合とは、「協働のまちづくりに関する区民意識調査」における当該設問に対し、「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
(5)取組実績	活動指標(事業の実施状況)	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	5年度(計画値)
	① 回収した缶・ビン・ペットボトルの本数	↗	本	51,576	53,000	44,040	83.1	53,000
	② 実施日数	→	日	188	218	178	81.6	215
	③							
指標の説明	①回収した缶・ビン・ペットボトルの本数とは、ごみのポイ捨て防止啓発及び清掃活動において回収した本数 ②実施日数とは、ごみのポイ捨て防止啓発及び清掃活動の実施した日数							
未達成の状況	未達成	年々、夏の気温が高くなり、熱中症アラートが発令されている。契約に高齢者の健康管理のため、アラートが発令されたら業務の中断等を行うように記載している。そのため、一日の活動時間が減り、最終的に実績値が少なくなったと考えられる。						

2. 事業費の推移

単位	金額の項目:千円 人数の項目:人	3年度		4年度			5年度	
		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R4決算比)
事業費	A	12,123	10,311	15,430	11,935	77.35%	15,734	3,799
人件費	【正規(人数)】	—	(0.85)	—	(0.95)		(0.95)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.44)	—	(0.75)		(0.75)	—
	人件費 B	B	—	8,809	—	10,775		10,775
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	19,120	—	22,710		26,509	3,799
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		0	0
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他	0	0	0	0		0	0
	一般財源	E=C-D	—	19,120	—	22,710		26,509

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和4年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	活動指標が未達成のため
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。			
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題			

3. (2)①とリンク
成果指標については、概ね目標を達成している。駅前や大通りを中心に路上喫煙の対策を実施した結果、「路上喫煙率」の減少につながったが、裏路地における路上喫煙者数は増えており、その対策も必要となっている。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)

- ・区民等が従事者へ肯定的な意見を伝えたり、道案内等をして感謝された事例が24件あった。
- ・シルバー人材センターに業務委託をすることにより高齢者の生きがい創出に繋がっている。

(2)業務(事務)改善に向けての取組み	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	実施体制等の改善・拡充を図ったため
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。			
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)			
	②現状の実施状況における所管課の認識			

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	高齢者のいきがい創出や街の美観向上に関する取組みは、SDGsの目標を達成の観点からも適しており、特段該当するものはない。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	委託業務の内容を直営で実施した場合、実施時間・日数とも多いためコストがより一層必要となる。直営で実施するのは、不可能である。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	高齢者のいきがい創出の目的があったため、シルバー人材センターへ委託することで適正なコストのもと事業を運営している。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	ポイ捨てごみの多い池袋駅周辺の清掃範囲を拡大したり、事業の見直しにより予算を捻出し、人員増を図った。	予算措置	有
対応・改善予定(上記では無い場合は更なる)	無	無	対応、改善の予定がない理由	十分な実施体制の拡充を図り、現時点では効率的に事業運営が行われているため。		

選択肢に
関わらず

対応、改善の内容					予定時期	
有	有	有	有	有	有	有

(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	路上喫煙の防止と環境美化の推進に必須の事業であり、より一層区民からのニーズが高まっているため。
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。			
	①区が実施する理由(複数選択可)			
	②区民ニーズ			

<input type="radio"/> 区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/> その他(理由)

区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	サービス利用者数
	「有」「無」		推移	推移	
ともに記入					

区民ニーズに対する認識

- ・路上喫煙等に関する要望は約300件あり、行政による路上喫煙・ポイ捨て防止対策に対するニーズは高い。
- ・「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合も増えており、結果も出ているが、現状に甘んじず取り組んでいく必要があると考えている。

総合評価(d=a+b+c)	ランク2
---------------	------

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	令和3年度、令和4年度にたばこに関する苦情は300件以上寄せられている。令和5年度も苦情の件数が大幅に減少することは見込めないため、路上喫煙・ポイ捨て防止に関する取り組みは必須である。このような状況下、年間40,000～50,000本のビン・缶・ペットボトルのごみを回収や路上喫煙者への注意・指導を行う当該事業を継続する意義は大いにありとされる。
②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）	なし
③令和5年度の方向性・取組方針（事業展開）	令和4年度より開始した喫煙所助成制度により民間の力を活用した喫煙所整備に力を入れている。加えて、街の美観向上には定期的な清掃活動や啓発活動を継続的に実施していくことでより効果的になるため、ソフトとハードの両輪の取り組みを継続して実施していくこととする。
④令和5年度の事業進捗状況（6月末時点）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月末時点の回収した缶・ビン・ペットボトルの本数は、12,503本であった。このままのペースで業務が進んだ場合、取組実績における令和5年度の数値目標は達成可能である。 ・令和5年度のごみゼロデーにもシルバースターズの参加協力を行ってもらった。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・区民等より委託従事者へ「街をきれいにしてくれてありがとう」等の感謝の言葉をもらっている。 ・従事者からは、当該事業を継続してほしいという要望がシルバー人材センターを通じて寄せられている。
⑥上記⑤に対する対応	感謝の言葉をもらっていることに対して、特段所管課では対応等をしていない。

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	路上喫煙の防止と環境美化の推進に必須の事業であり、区民からのニーズが高い。
---------------	------	----	---------------------------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A: 現状維持
---	---------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

通常業務である道路等の清掃、喫煙者の注意・指導、ポイ捨てを行うものへの指導等に加え、ごみゼロウィークなどを始め、区の実施するイベントにも参加を予定している。まちのイメージを向上させ、来訪者にきれいな街をPRしていく。